

子育てコラム



お子さんの将来の夢は何ですか？

家庭教育指導員 加瀬 桂子

子どもたちは小学生で8割、中学生で7割が将来の夢を持っていると答えています。

みなさんはわが子の将来の夢を知っていますか？

今、「キャリア教育」の一環で、小学6年と中学2年で「職場体験」に行きます。必ずしも希望の職場に行けるとは限りませんが、そもそも希望の職場が受け入れ先にないかも知れませんが、わが子がどういう仕事に興味を持っているかを知ったり、それをきっかけに将来の仕事について話しをすることが出来ます。

しかし、その時になってどんな仕事に興味があるかという前にもっと小さいうちから、自分の将来の姿を考えさせることを勧めたいと思います。将来の見通しのつかない現在ですが、普段から将来を考えていれば、職場体験で職場を選ぶ時にも、より現実的に選ぶ

ことが出来ますし、なにより大人になつたら働いて生きていくというのを自覚することができ、頭の片隅に将来の仕事を意識して生活するようになるのではないのでしょうか。いざ就職という時に仕事を選ぶとか適性を考えるより、早いうちから意識していれば、自分に合った仕事ややりがいのある仕事を見つけやすくなります。

親としては、小学生の頃から自分の子どもがどういうことに興味があるのか、どんなことが好きなのか、得意なのか…そんなことに目を向けながら、適性のありそうな仕事を提案することも出来ます。身の回りにもいろいろな仕事があることを日々の生活の中で教えてあげることが出来ます。また、苦労して夢を実現した人の生き方や親自身の経験なども話してあげましょう。

そういう働きかけをすることで、

子ども自身が自分の将来を考えるようになっていきます。

また、将来の夢があればその夢を実現させるためにはどうすればいいかを考えさせることです。小学生でも、自分がなりたいものがあれば、それに関係する勉強はがんばろうと思うものです。子どもが勉強をしなくて困るといふときに、「大きくなつたら何になりたいの？」と聞いてみましょう。「それならこの勉強はやっておかないといけないね。」と話すことも出来ます。

将来の夢は成長するに従って変わっていくかもしれませんが、大事なことは、自分で決めた目標に向かって頑張ることが出来ることです。

そのためには、普段の生活の中で、目標に向けてチャレンジする子どもの努力を認め、達成できた時は一緒に喜び、頑張りをほめ、達成感を獲得させることです。もちろん失敗したり、途中でくじけることもあります。失敗を重ねながら成長していきますので、励ましながら見守りましょう。

子どもの未来は、自分が描いた夢を自分の努力で実現していくものですから、親はそれに適切なア

ドバイスを与えながら見守ってあげましょう。

市では、子育て相談を受け付けています。子育てで悩んだ時、困った時、不安になった時など子育てに関する事ならどんなことでも気軽に相談ください。

相談電話 ☎(80)1456

受付時間 月・水・木・金曜日の午前9時～午後4時半
(水曜の午後・祝祭日を除く)

山武市家庭教育学級 合同開級式講演会

日時 5月26日(木) 午前10時～正午

場所 成東文化会館のぎくプラザホール

講師 池口紀夫先生(中核地域生活支援センター夷隅ひなた所長)

内容 子どもが自立するための土台をどう作るか

※入場無料・託児あり(申込先着順)

問い合わせ 生涯学習課 ☎(80)1456